

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名	仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業
-------------------	--------------	-----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを産み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	1	地域での子育て支援
主要な施策	5	子育て家庭への相談・情報提供の支援
事務事業番号	001	事務事業コード 11115001 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	仕事と家庭両立支援(ファミリーサポートセンター)事業
------	------	------------	----------------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 育児の援助を受けたい人と、提供したい人。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 仕事と育児の両立のため、子供の預かり相互援助組織である登別市ファミリーサポートセンターを組織し、相互援助活動の連絡・調整を行なっている。 業務は登別市社会福祉協議会に委託。 【利用件数】平成20年度 2,072件 平成21年度 2,116件 【会員数】平成20年度 638人 平成21年度 692人
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 仕事と育児が両立する環境を整える。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> 登別市ファミリーサポートセンター事業実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	仕事と育児が両立する環境を整える。	会員数	目標値	650	660	670	680	690
			実績値	692				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源 内訳	国庫支出金 名称 次世代育成支援対策交付金	千円	4,360	3,250	3,250	3,250	3,250	9,750
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	2,650	3,786	3,786	3,786	3,786	11,358
合 計			7,010	7,036	7,036	7,036	7,036	21,108
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	83	87			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		83	87			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
市町村が実施する子育て支援事業の一つで、交付金の対象事業である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
預かり需要の増加に伴い、会員数も年々増加している。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
病児・病後児の預かり・宿泊を伴う預かり等、多様化する需要に対応するため今後は医療機関との連携、専門職員の配置等が必要となるが、費用対効果を考えると実現は困難である。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
委託先の登別市社会福祉協議会では、アドバイザーを減員する等、経費の削減に努めており、これ以上の削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	子育て支援策の一つとして仕事と育児が両立できる環境を維持する。
-----------	----------------------	---------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）